

フレンドリー

FRIENDLY



“笑顔”で再会しようね!!



ベルギー・ナミュール市



ドイツ・シュツットガルト市



中国・邯鄲市



オーストラリア・グレンアイラ市



韓国・昌原市



米国・ビーバートン市



大垣市在住の外国人市民



米国・ユージーン市

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、人との接触を避ける新しい行動様式が求められた1年でした。海外との交流に加え、国内においても様々な事業が中止となりました。直接会うことはかなわなかった1年でしたが、より一層人とのつながりの大切さを感じました。

新型コロナウイルスが収束し、世界中に笑顔が戻り、皆さんと再会できる日が来ることを願っています。

リトアニア文化教室 (公財)岐阜県国際交流センターとの共催

～杉原千畝生誕120年、命のビザ発給80年記念事業～

11/29(日) スイトピアセンター スイトピアホール(参加者25人)

岐阜県出身の外交官、杉原千畝生誕120年、“命のビザ”発給80年にあたることから、県内各地で「岐阜・リトアニア交流事業」が開催されました。その一環として、リトアニア出身の岐阜県国際交流員のジヴィレ・ヨマンタイテさんによるリトアニアの紹介、リトアニアのクリスマス、そして杉原千畝を紹介する「リトアニア文化教室」を実施しました。

リトアニアってどんな国？



▲リトアニアの伝統衣装を着たジヴィレさん

首都：ヴィリニウス(ビリニウス)
人口：約280万人(岐阜県の約1.4倍)
面積：65,300km²(岐阜県の約6倍)



杉原 千畝の紹介

1900年生まれ。岐阜県出身の外交官。第二次世界大戦中に、リトアニアのカウナスにある日本領事館に領事代理として赴任中、ナチスの迫害を逃れてきたユダヤ人にビザを発給し、約6,000人のユダヤ人を救ったといわれる。その発給したビザは「命のビザ」と呼ばれている。

リトアニアの観光地。とても歴史のある教会



リトアニアのクリスマスの過ごし方

クリスマスは、一年で一番大切な行事で、主に家族や親戚と過ごします。クリスマス前の4週間は、降臨節と呼ばれクリスマスを迎える準備をする期間です。その間は、肉、乳製品、卵、お酒、お菓子は禁止されています。

クリスマスイヴは、朝から掃除、料理の準備、家の飾り付けをして、夕食まで断食をします。

夕食前にお風呂に入り、きれいな服に着替えて、12～13種類にも及ぶクリスマスイヴの夕食を食べます。

夕食が終わると、来年の運勢、恋愛などの占いをします。数種類の占いがありますが、今回は、麦わらを使った占い、みつろうを使った占い、そしてナッツを使った占いを紹介しました。

麦わらの占い

テーブルに置いたわらを見ないで1本取り、長さ、太さ、形、色から占います。

例えば、長いわらは、長い人生、穂先がついているわらはお金を意味します。



みつろうの占い

溶けたみつろうを水に入れ、出来上がった形から来年の運勢を占います。

例えば、花や魚の形は友人を意味し、椅子やはしごは仕事を意味します。

これは何の形に見えるかな？



リトアニアの名産品



テーブルクロスなどのリネン製品



▲▼会場で展示した名産品



日本文化紹介講座 ～弁当と学校給食～

1/17(日) スイトピアセンター スイトピアホール(参加者14人)

日本の学校では、遠足などの行事でお弁当を持っています。どんなお弁当を準備すればよいかわからない外国人保護者の方もいます。そこで、今回、弁当と学校給食をテーマにした、日本文化紹介講座を実施しました。ブラジル、中国、ベトナム出身の計14人が参加しました。



弁当は、約1,200年前から始まったという歴史の話から、どんな時に弁当を持っていくかなどを紹介しました。

また、子どもたちが食べる学校給食の話、弁当を作る際のポイントや食育についても紹介をしました。



▲講師手作りのお弁当に興味津々の参加者。また、しょうゆ、みそなどの調味料も紹介しました。

増田美香講師の紹介



外国にルーツを持つ小・中学生を対象とした「大垣市外国人児童・生徒放課後学習支援教室」

で指導員をされている傍ら、しょうゆやみそを作るなどの食育の講座もされています。

参加者の感想

- ・日本の文化や食事の大切さを学べて、とても勉強になりました。
- ・お弁当の歴史を知らなかったので、参加してよかった。

参加したみなさんの国では、お弁当や給食はあるのか、聞いてみました



ブラジルの学校給食とお弁当



お弁当

出典:<http://www.5avivaconsciente.com.br>



学校給食

出典:<https://commons.m.wikimedia.org/>

ブラジルの公立小・中学校では給食があります。ご飯や煮豆、卵、学校の畑で取れた野菜が出ます。おやつは牛乳やクッキー、果物です。お弁当は、煮豆、お肉、野菜炒めなどをご飯の上にのせるのが一般的です。



高橋 マリレニさん

中国の学校給食と駅弁



学校給食

出典:<https://image.baidu.com/>



中国の駅弁

出典:<https://www.mychinanews.com/news>

一部の小・中学校では給食を提供していますが、全国ではまだ普及していません。主食はご飯がメインで麺類もあります。おかずは野菜と肉の炒め物や鶏肉料理等の家庭料理です。また、中国の鉄道ではお弁当が車内販売されています。食事の時間になったら、ご飯とおかずを載せたカートが回ってきます。窓から美しい風景を見て、温かいお弁当を食べながら、旅を楽しみます。



毕莹(ビイン)さん



ベトナムの定番メニュー



春巻き

出典:<https://amp.vnexpress.net>



フォー

出典:<https://tintucnamdinh.vn>

日本のような弁当文化はありません。学校給食は、ある学校とない学校があります。職場では、外食するかメニューを決めて注文して会社まで配達してもらうのが一般的です。定番メニューは「フォー」、「揚げ春巻き」、「トマトやパイナップルで出汁を取った酸味の効いたスープ」などです。



ファン ホン フォンさん

「日本の食文化～弁当と学校給食～」

講座からの抜粋



出典:国立国会図書館デジタルコレクション



出典:(公財)学校給食研究改善協会

日本人は1,200年前から弁当を作っていました。「さくら」の「さ」は田の神、「くら」は神が降りてくる場所、つまりお米がたくさん取れることを願って花見をする習慣ができたそうです。弁当は働く場所に持っていく食べ物ですので、昔の漁師は船に水が入った時、弁当箱を使って水を出し、助かったという話もあります。また、日本の学校給食の起源は、1889年(明治22年)、山形県の小学校で食事を無料で配ったのがルーツとされています。

地域日本語教育シンポジウム in 大垣

2/7(日) スイトピアセンター スイトピアホール(参加者30人)
オンライン(Zoom) (参加者70人)

地域で暮らす外国人市民にとって、日本語を習得する場、そして居場所となっている日本語教室について考える「地域日本語教育シンポジウムin大垣」を、昨年に引き続き開催いたしました。今年度は、東海日本語ネットワーク副代表の米勢治子氏による講演、岐阜県の日本語教育体制整備についての講話、パネルディスカッション、当協会の日本語学習支援の報告と外国人市民によるスピーチを行いました。

スイトピアセンターの会場には、国際交流ボランティアを中心に30人、Zoomウェビナーで開催したオンラインでは、全国から日本語教育関係者など70人にご参加いただきました。

講演「地域日本語教室のあり方と今後の課題」

～外国人住民が地域社会で活躍できるように～

外国人が日本語を習得した先にあるのは、地域社会で活躍できること、そして多文化共生社会の基盤づくり。そのためには、地域日本語教室は住民全体が関わり、日本語で対話をしながら互いに対等の立場で学び、協働学習の場であること。また、相互理解のテーマや地域に密着したテーマで学ぶ。私が深く共感している、地域日本語教室のあり方です。一方、今後の課題は、①地方自治体や事業主が責任を持って日本語教育を推進していける体制整備の在り方、②地域日本語教育機会の拡充の一方で教室に参加していない人にとどのような機会が与えられるか、③日本語教室に対する日本人住民の理解と関心をどう得ていくのか、④地域日本語教育の専門性をどう担保していくのか。私たちそれぞれが、自分の立場でできることを考え、行動していくことが大切だと思います。(講演から一部抜粋)



▲米勢治子氏
(東海日本語ネットワーク副代表)



パネルディスカッション

「これからの地域日本語教育を探る ～多様化する外国人就労者に焦点を当てて～」

今回、岐阜県と連携した日本語教室での成果は、ベトナム人実習生と日本人従業員とのコミュニケーションが増えたこと、実習生から声をかけることができるようになったことだと感じている。今後の日本語教室への要望は、企業ごとに実習生の日本語レベルや要望内容など違うので、そのような点をぜひ検討してほしい。

岐阜中部樹脂工業協同組合
事務局長 高田 雅雄氏

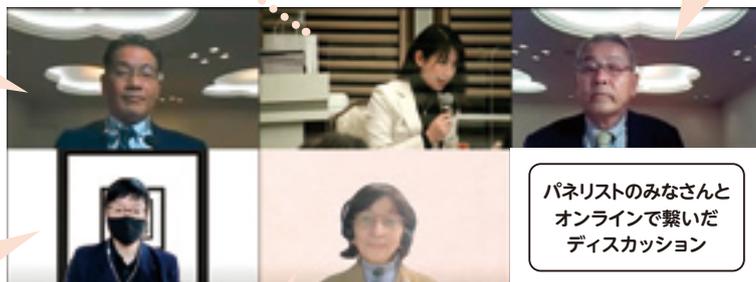
コーディネーター
岐阜協立大学
非常勤講師
伊藤 かな氏

県内42市町村のうち日本語教室は21市町にしかない。各市町村役場を回って感じたのは、担当者が外国人の現状を把握していないところがある。県として期待するのは、日本語教室に手を挙げる企業がいろいろな地域で出てきて、外国人就労者に対する日本語教育が近くで行われている動きを作りたい。そして県内全域において日本語教育の機会を増やしていきたい。

岐阜県日本語教育総括コーディネーター
横山 博信氏

外国人が日本で住みやすくなることは、日本語ができるようになるだけでは解決しないと思う。日本語支援に関わっている人を通して、外国人も一緒に暮らす住民だということを認識し、外国人に対する寛容さを住民に広めることが大切だと思う。

セントラルジャパン日本語学校
主任教員 柏谷 涼介氏



パネリストのみなさんと
オンラインで繋いだ
ディスカッション

企業内で日本語教室をしている事例がある。目指す姿は、企業の従業員と一緒に学ぶ協働学習の場。相互理解を基本としながら、生活に密着したテーマについても一緒に学ぶ。その中で、日本人従業員の外国人に対するコミュニケーションスキルが上達し、就労の現場で伝えられることが増えていく。「こんなこともわからないのか」ではなく「このように頑張っている」と感じ、受容の仕方が変わる。この姿勢が、外国人が生活者として地域で生活していけることの可能性だと思います。

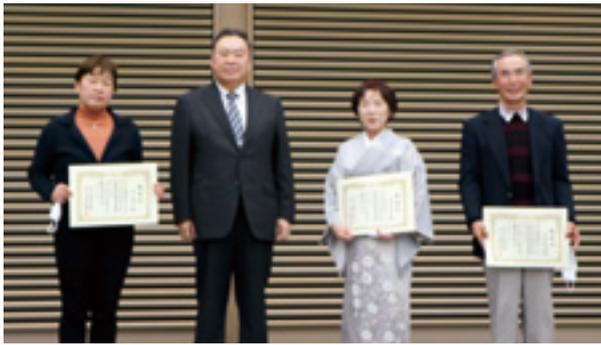
米勢 治子氏

外国人市民によるスピーチ

ベトナム出身のリンさん。以前は当協会でも日本語を学習していましたが、今は日本語教室のアシスタントとして学習者のサポートをしています。学習者とのように関わっているのか、また今でも目標を持って日本語の学習を継続していることなどをお話してくれました。



国際交流ボランティア感謝状贈呈



▲左から蒲 順子様、日比理事長、山田 文子様、山本 哲也様

15年以上、当協会の国際交流ボランティアとして登録をされている方々へ感謝状を贈呈しました。15年以上の長きに亘り、海外からの受入時のホームステイや日本文化紹介、通訳、また外国人市民の日本語学習支援などの活動にご協力いただきました。ありがとうございました。

今後ともよろしくお願いいたします。

6名の皆さまに感謝状を贈呈しました

蒲 順子様 山田 文子様 山本 哲也様
岩月 昭二様 松坂 栄子様 佐藤 公彦様

令和2年度を振り返って

【国際交流・国際理解事業】

【中止】≪フレンドリーシティ派遣事業≫

オーストラリア・グレンアイラ市小・中学生研修派遣
ドイツ・シュツットガルト市中学生研修派遣
アメリカ・ビーバートン市、ユージーン市高校生研修派遣

【中止】≪フレンドリーシティ受入事業≫

中国・邯鄲市学生訪問団受入
ベルギー・ナミュール市学生訪問団受入
オーストラリア・グレンアイラ市学生訪問団受入
ドイツ・シュツットガルト市学生訪問団受入

≪地域国際交流事業≫

- * リトアニア文化教室(11/29) 参加者：25人
- * 日本文化紹介講座(弁当と学校給食)(1/17) 参加者：14人
(宝くじ(自治総合センター)助成事業)

≪国際交流ボランティア活動推進事業≫

- * 日本語指導ボランティア講座(文化庁受託事業)
 - ・入門編(10/18～11/29【全5回】) 受講者：23人
 - ・ブラッシュアップ編(1/10～1/31【全4回】) 受講者：8人

≪民間国際交流助成事業≫

- * 助成事業：1団体1事業

≪外国語基礎会話講座事業≫

- * 英語基礎会話講座(10/23～12/11【全8回】)
講師：加藤 ミリアム氏(英会話講師) 受講者：10人
- * フランス語基礎会話講座(10/24～12/19【全8回】)
講師：西部 美里氏(フランス語通訳) 受講者：9人
- * 韓国語基礎会話講座(1/16～3/13【全8回】)
講師：兪 瑞香氏(韓国語講師) 受講者：3人
- * ドイツ語基礎会話講座(1/18～3/8【全8回】)
講師：マーセル アイカマン氏(ドイツ語通訳・翻訳) 受講者：10人

【中止】≪海外事情紹介事業≫

海外研修派遣事業報告会

≪国際相互理解事業≫

- * 事業記録写真等の展示(スイトピアセンターフレンドリーフロアにて)
- * 広報事業
 - ・機関誌「フレンドリー」発行(9月、3月)
 - ・ホームページによる広報：随時更新中

【多文化共生事業】

≪外国人市民支援事業≫

* 外国人市民の日本語学習支援

- ・ボランティアによるマンツーマン方式日本語学習支援(毎日(休館日を除く))
学習者数：126人、ボランティア数：78人(2月末現在)
- ・にほんごおしゃべりルーム(オンラインで試験的に実施)
- ・外国人市民のための日本語教室(文化庁受託事業(初中級クラスを除く))
 - ・基礎クラス(6/21～2/14【全30回(3期)】) 受講者：計45人
 - ・せいかつのにほんごクラス(8/9～10/4【全8回】) 受講者：13人
 - ・初中級クラス(10/11～12/13【全10回】) 受講者：13人
- ・地域日本語教育シンポジウムin大垣(2/7)(文化庁受託事業) 参加者：100人
- ・就学前外国人児童日本語等指導事業(大垣市受託事業)(11～3月) 参加者：42人

* 外国人市民のための相談窓口の設置

- ・相談窓口 [ポルトガル語、中国語、英語]
- ・行政書士による行政手続き相談会(毎月第1日曜日)
- ・ポルトガル語によるこころの相談(毎月第2日曜日)
(公財)岐阜県国際交流センター助成事業)

【中止】外国人市民のための行事・講座

- ・外国人市民のための日本文化講座[和服体験]
- ・神輿体験in十万石ふる里まつり
- ・外国人市民のための浴衣着付け体験

* ブラジル人子弟日本語学習支援事業

- ・日本語指導者派遣(学校法人HIRO学園への派遣)(毎週月・木曜日)

令和3年度 事業計画

【フレンドリーシティ派遣・受入事業】

- ＊大垣市小・中学生研修派遣(中国・邯鄲市)(8月)
- ＊大垣市中学生研修派遣(ベルギー・ナミュール市)(9月)
- ＊大垣市高校生研修派遣(アメリカ・ピーバートン、ユージーン市)(10月)
- ＊中国・邯鄲市学生訪問団受入(8月)
- ＊ドイツ・シュツットガルト市学生訪問団受入(9月)
- ＊ベルギー・ナミュール市学生訪問団受入(10月)
(状況により、中止になる場合があります。)

【地域国際交流事業】

- ＊おやこ国際理解講座(サモア工作:8月、リトアニア料理:12月)

【国際交流ボランティア活動推進事業】

- ＊日本語学習サポーター養成講座(7月、10月、1月)
- ＊ボランティアの集い(3月)

【民間国際交流助成事業】

- ＊民間国際交流団体助成(随時)

【外国語基礎会話講座事業】

- ＊英語基礎会話講座(10月)
- ＊ポルトガル語基礎会話講座(10月)
- ＊韓国語基礎会話講座(1月)
- ＊中国語基礎会話講座(1月)

【海外事情紹介事業】

- ＊海外研修派遣団員報告会(小・中学生:11月、高校生:12月)

【国際相互理解事業】

- ＊事業記録写真等展示<海外紹介、事業紹介>(随時)
- ＊機関誌「フレンドリー」発行(9月、3月)
- ＊ホームページによる広報(<http://www.i-oiea.jp/>)

【多文化共生事業】

- ＊外国人市民の日本語学習支援
 - ・ポランティアによるマンツーマン方式日本語学習支援(通年)
 - ・にほんごおしゃべりルーム(通年)
 - ・外国人市民のための日本語教室(5月、8月、11月開講)
 - ・地域日本語教育シンポジウム(2月)
 - ・就学前外国人児童日本語等指導事業<大垣市受託事業>(11~3月)
- ＊外国人市民のための相談窓口の設置
 - ・相談窓口 [ポルトガル語、中国語、英語] (通年)
 - ・行政書士による行政手続き相談会(毎月第1日曜日)
 - ・ポルトガル語によるこころの相談(毎月第2日曜日)
- ＊外国人市民のための行事・講座
 - ・外国人市民のための日本文化講座 [和服体験] (通年)
 - ・外国人市民のための浴衣着付け体験(8月)
 - ・外国人市民のための神輿体験(10月)
- ＊ブラジル人子弟日本語学習支援事業
 - ・日本語指導者派遣(通年)

故 土屋 嶋氏(当協会元会長)のご冥福をお祈り申し上げます。

当協会の会長(平成9年12月25日から平成21年3月31日までの11年3か月)、その後相談役として事業の推進にご尽力いただきました土屋 嶋氏(大垣共立銀行代表取締役会長)が、令和2年11月4日に74歳でご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

大垣国際交流協会の Facebook はじめました!!

多言語に翻訳した情報など外国人市民の方への情報、当協会のイベント情報などを配信します。
“いいね”やフォローを
よろしくお祈り申し上げます。

Facebook QRコード



編集後記

新型コロナウイルスが収まる気配のない第三波の中、ワクチンの接種が始まろうとしています。人と人とのつながりが遠ざかる今、つながりの大切さ、楽しさを知りました。再び巡り会える日を!そんな思いを込め、各国のフレンドリーシティの皆さんの笑顔を表紙にいたしました。
当協会も、コロナ対策を十分に考え、リトアニア文化教室、日本文化紹介講座、地域日本語教育シンポジウムin大垣等々を開催することが出来ました。
リトアニアは、杉原千畝外交官で国名はよく知られていますが、行く機会が少ない国で、興味深い内容のお話でした。ぜひご一読ください。
次号発行の頃には、ワクチン接種が功を奏し、コロナが収束に向かっていくことを願っています。

大垣市在住外国人の国籍別人数表

総数:5,634人(前号(令和2年9月号)との比較(72人増) ※令和3年2月末現在

	人数	前号(令和2年9月号)との比較		人数	前号(令和2年9月号)との比較		人数	前号(令和2年9月号)との比較
ブラジル	2,418	-32	トルコ	9	3	マレーシア	2	0
中国	1,210	-25	インド	8	-7	メキシコ	2	0
ベトナム	564	62	モンゴル	8	1	ニュージーランド	2	1
フィリピン	485	38	エジプト	8	0	パラグアイ	2	0
韓国又は朝鮮	279	2	イタリア	6	0	スペイン	2	-2
ペルー	140	0	ボリビア	5	-2	ウクライナ	2	0
ネパール	86	-19	ルーマニア	4	0	ジャマイカ	2	0
インドネシア	81	6	シンガポール	4	0	フランス	1	1
ミャンマー	54	12	イギリス	4	0	ガーナ	1	0
カンボジア	51	15	カナダ	3	0	モルドバ	1	1
スリランカ	43	8	コロンビア	3	0	オランダ	1	0
アメリカ合衆国	42	4	コートジボワール	3	0	ロシア	1	1
タイ	34	1	ラオス	3	0	スウェーデン	1	0
パキスタン	21	-1	アルゼンチン	2	0	チェコ	1	1
バングラデシュ	19	5	オーストラリア	2	1	チリ	0	-1
台湾	10	0	ドミニカ共和国	2	0	無国籍	2	-2

総人口に占める割合 3.5%



フレンドリー No.91

編集/公益財団法人 大垣国際交流協会 広報委員会



ホームページQRコード

〒503-0911 大垣市室本町5丁目51番地 スイピアセンター学習館2階
TEL(0584)82-2311 FAX(0584)82-2314
<http://www.i-oiea.jp/> [E-mail] oiea@mb.ginet.or.jp

発行/2021年3月
印刷/サンメッセ株式会社